2014年 1 月19日 実施

平成25年度(第50回)

情報処理検定試験 〈プログラミング部門〉

第2級 試験問題

- 1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
- 2. 試験問題は10ページあります。
- 3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
- 4. 【1】【2】【3】【4】【5】【6】は共通問題です。
- 【7】の問題はJava ・マクロ言語・COBOLのいずれか1つを 選択し、解答用紙の選択言語を()で囲んでください。
- 6. 電卓などの計算用具は使用できません。
- 7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- 8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
- 9. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1. 自分のコンピュータに保存されているデータやプログラムを、ネットワークを介してサーバに保存すること。
- 2. 音楽や小説、ソフトウェアなどの創作物に関する創作者の権利を保護する法律。
- 3. 同じ建物の中や敷地内など、限られた範囲内のコンピュータ機器を接続したネットワーク。
- 4. 磁気ディスクやフロッピーディスクなど、記録面上の円1周分の領域。
- 5. ファイルやディレクトリに対して、変更や削除などあらゆる操作が可能となるアクセス権限。

- 解答群 -

ア. フルコントロール

イ. アップロード

ウ. 不正アクセス禁止法

エ. CATVモデム

才. トラック

カ. 磁気ヘッド

+. 著作権法

ク. ダウンロード

ケ. LAN

コ. ファイアウォール

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

<A群> 1. イニシャルコスト

2. フリーウェア

3. MPEG

4. 拡張子

5. ASCIIコード

<B群>

- ア. 日本語を表現するために定められた、日本工業規格の文字コード。
- **イ**. システムの保守や管理, 消耗品の購入など運用のためにかかる費用。
- **ウ**. 品質によりいくつかの規格が定められている, 動画を圧縮して保存するファイル形式。
- **エ**. 新たに機器や設備、システムなどを導入する際にかかる初期投資費用。
- **オ**. ファイル管理のために用いる階層構造で、その最上層にあるディレクトリ。
- **カ**. 利用者が試用期限の制限なく無償で使用でき、インターネットなどで公開されているソフトウェア。
- キ、イラストなどで利用される、静止画を圧縮して保存することができ、256色まで取り扱えるファイル形式。
- **ク**. 試用期間終了後、代金を支払うことによって使用権を取得し、継続して利用できるソフトウェア。
- **ケ**. 英数字や特殊記号を 7 ビットで表現する米国規格協会が定めた文字コード。
- **コ**. ファイルの種類を区別するため、ファイル名の末尾に付加されたピリオド以降の文字列。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1.10進数の58と2進数の100110の差を表す2進数。

7. 1 0 0 1 0

1. 10011

ウ. 10100

2. プログラムの翻訳時にはエラー表示されないが、意図した実行結果が得られないプログラム作成上の誤り。

ア. デバッグ

イ. 論理エラー

ウ. 文法エラー

3. 無線LANで用いられ、混信を避けるために最大32文字までの英数字を任意に設定できる、アクセスポイント の識別子。

7. Z I P

1. SSID

ウ. ONU

4. 言語プロセッサの1つで、プログラムを1行ずつ翻訳して実行するもの。

ア. インタプリタ

イ. コーディング

ウ. コンパイラ

5. 解像度1,200×1,000ピクセル, 1ピクセルあたり24ビットの色情報を持つ画像1枚分の記憶容量。 ただし、1 MB = 1,000,000 Bとする。

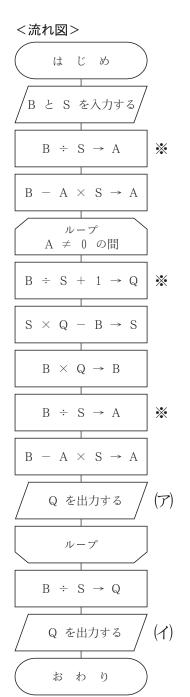
ア. 1.2MB

イ. 3.6MB

ウ. 28.8MB

【4】 流れ図にしたがって処理するとき、(1)~(5)を答えなさい。

- (1) Bの値が4、Sの値が3のとき、(ア)で最初に出力されるQの値を答えなさい。
- (2) Bの値が 4, Sの値が 3 のとき、(イ)で出力される Qの値を答えなさい。
- (3) Bの値が7, Sの値が5のとき、(ア)で2回目に出力されるQの値を答えなさい。
- (4) Bの値が7, Sの値が5のとき、(ア)の処理を何回実行するか答えなさい。
- (5) BとSの値が次の①、②のとき、(イ)で出力されるQの値を比較すると、どのような関係になるか。
 - **ア**, **イ**, **ウ**の中から選び, 記号で答えなさい。
 - Bの値が3, Sの値が2
 - ② Bの値が 2, Sの値が 3
 - **ア**. ①のときの方がQの値は大きい。
 - **イ**.②のときの方がQの値は大きい。
 - **ウ**. それぞれのQの値は同じである。



※ 小数点以下切り捨て

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。 <流れ図の説明>

処理内容

書店の売上データを読み、冊数と単価から売上一覧表を表示

入力データ

題名	冊数	単価	
(Dai)	(Suu)	(Tan)	
×~×	$\times \times \times \times$	$\times \times \times \times$	(第1

図)

実行結果

	(売」	上一覧表)	
(題名)	(冊数)	(単価)	(売上金額)	(人気)
トラジの冒険	482	500	241,000	
魔法使いの少年H	1,120	800	896,000	*
ロボスコップ	300	1,200	360,000	
あそびのススメ	567	480	272, 160	
}	}	}	₹	₹
IQ200の男	1,300	650	845,000	*
(売上金額	(信合)	12,653,540	
(最も	多い売上	:金額)	1,436,400	
	(平均]冊数)	531	

(第2図)

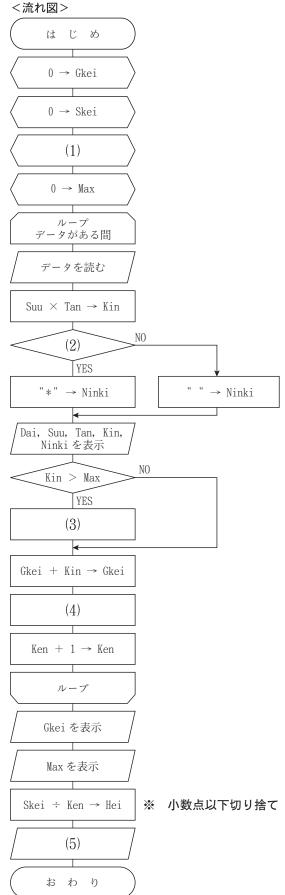
1. 第1図の入力データを読み、売上金額を次の計算式で求め、 第2図のようにディスプレイに表示する。なお、冊数が千冊 以上の場合,人気に「*」を表示する。

売上金額 = 冊数 × 単価

- 2. 入力データが終了したら,第2図のように売上金額合計, 最も多い売上金額、平均冊数をディスプレイに表示する。
- 3. データにエラーはないものとする。

- 解答群 -

- **7.** Skei + Suu → Skei
- **1.** Max → Kin
- ウ. $0 \rightarrow \text{Ken}$
- **≖**. Suu < 1000
- オ. Hei を表示
- カ. Suu ≥ 1000
- \pm . 0 \rightarrow Kin
- **7.** Skei + Gkei → Skei
- τ . Kin \rightarrow Max
- コ. Ken を表示



【6】 流れ図の説明を読んで,流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び,記号で答えなさい。 <流れ図の説明>

処理内容

ショッピングモールの売上データを読み、店舗番号と顧客区分 から金額を集計し、店舗分類別・顧客区分別集計表を表示する。 入力データ

	_		
日付	店舗番号	顧客区分	金額
(Hi)	(Ban)	(Ku)	(Kin)
$\times \times \times \times$	$\times \times \times$	×	×~×

(第1図)

実行結果

(店台	舗分類別・雇	頂客区分別集計表	:)
(店舗分類)	(人数計)	(金額計)	(顧客単価)
フード	5, 134	9, 416, 832	1,834
ファッション	2,915	7, 227, 935	2, 479
生活•雑貨	4,413	6, 761, 784	1,532
レストラン	12,812	14, 545, 299	1, 135
サービス	3, 384	4, 988, 596	1, 474
その他	1,340	2, 202, 008	1,643
(会 員)	17, 166	29, 525, 755	
(非会員)	12,832	15, 616, 699	
(会員比率(%))	57	(非会員の割引作	牛数) 163

(第2図)

処理条件

- 1. 第1図の入力データは次のとおり構成されている。
 - ・ 店舗番号は101~699である。なお,百の位は分類番号で あり、配列 Tbun, Nin, Kinkei の添字と対応している。

店舗番号	店舗分類	店舗番号	店舗分類
101~199	フード	401~499	レストラン
201~299	ファッション	501~599	サービス
301~399	生活•雑貨	601~699	その他

 顧客区分は1が会員、0が非会員であり、次のとおり割り 引きを行う。

会 員:金額の3%引き

非会員:金額が1万円以上の場合,金額の3%引き

2. 配列 Tbun に店舗分類を記憶する。

配列

Tbun

(0)	(1)	(2)	\sim	(6)
	フード	ファッション	~	その他

- 3. 入力データを読み,次の処理を行う。
 - ・ 配列 Nin に人数を、配列 Kinkei に金額を集計する。なお、 各配列は添字で対応している。

配列

Nin	(0)	(1)	(2)	~	(6)	(7)	(8)
				~			
Kinkei	(0)	(1)	(2)	~	(6)	(7)	(8)
				~			
		(フード)	(ファッション)	~	(その他)	(会員)	(非会員)

- ・非会員の割引件数を集計する。
- 4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 店舗分類ごとの顧客単価を次の計算式で求め、店舗分類 から顧客単価までを第2図のようにディスプレイに表示する。

顧客単価 = 金額計 ÷ 人数計

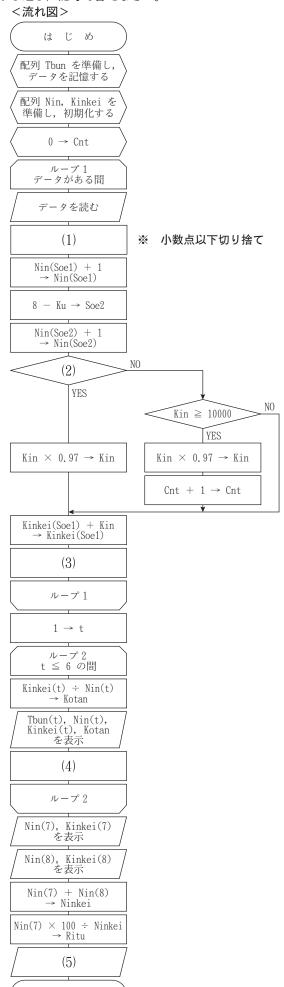
• 顧客区分ごとの人数計と金額計をディスプレイに表示する。 また、会員比率(%)を次の計算式で求め、非会員の割引件数 とともにディスプレイに表示する。

会員比率(%) = 会員人数計 × 100 ÷ 人数合計

5. データにエラーはないものとする。

- 解答群 -

- 7. $t 1 \rightarrow t$ 1. Ban $\div 100 \rightarrow Soe1$
- ウ. Ritu, Ninkei を表示
- **I.** Kinkei(Soe2) + Kin → Kinkei(Soe2)
- オ. Ku = 0 カ. Ban ÷ 10 \rightarrow Soe1
- キ. Ritu, Cnt を表示
- **9.** Ku = 1
- σ . Nin(Soe2) + Kin \rightarrow Nin(Soe2)
- \exists . $t + 1 \rightarrow t$



おわり

【7】 次の各問いに答えなさい。

問 1. プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

1,500m走の記録データを入力し、予選の通過を判定して、 最速の記録を表示する。

入力データ

生徒コード 記録 (分秒) $\times \times \times \times$ $\times \times \times$ (第1図)

実行結果

生徒コード:1304 記録(分秒):413 [判定]予選通過 生徒コード:1307 記録(分秒):503 生徒コード:1311 記録(分秒):427 [判定]予選通過 7 生徒コード: O 「最速の記録]4分9秒 (第2図)

処理条件

1. キーボードから第1図の生徒コードと記録(分秒)を入力 する。なお、記録(分秒)は上1桁が分を、下2桁が秒を表 している。

例 445 ⇒ 4分45秒

- 2. 記録(分秒)が430(4分30秒)以下の場合は、「予選通過」 とディスプレイに表示する。
- 3. キーボードから生徒コードに 0 が入力されたら、最速の 記録を第2図のようにディスプレイに表示して処理を終了す る。

<Javaプログラム>

<Javaプログラム>

import java.util.Scanner;

min = 999;

public static void main(String[] args) {

int min, scode, kiroku, fun, byo;

System. out. print("生徒コード:");

kiroku = sc.nextInt();

if(kiroku < min) {</pre>

min = kiroku;

scode = sc.nextInt();

fun = min / 100;

byo = min - fun * 100;

byo + "秒");

scode = sc.nextInt();

while(scode != 0) {

Scanner sc = new Scanner(System.in);

System.out.print("記錄(分秒):");

System. out. println("[判定]予選通過");

(1)

System. out. print("生徒コード:");

System.out.println("[最速の記録]" + fun + "分" +

public class Jikyuso {

//クラスJikyuso

//クラスKinsyuKeisan import java.util.Scanner;

sc.close();

public class KinsvuKeisan {

keisan.input();

}

} }

while(keisan.kingaku != 0) { keisan.output(); keisan.input();

```
private Scanner sc;
private int kingaku;
public KinsyuKeisan() {
    sc = new Scanner(System.in);
public void input() {
    System.out.print("金額:");
    kingaku = sc.nextInt();
public void output() {
    int[] kinsyu = { 10000, 5000, \sim, 5, 1 };
    int n, maisu;
    n = 0;
    while(n < 10) {
        maisu = kingaku / kinsyu[n];
        if(maisu > 0) {
            System.out.printf("[%,6d円]%4d枚\n",
               kinsyu[n], maisu);
            kingaku = kingaku -
             (3)
    System.out.println("---
public static void main(String[] args) {
    KinsyuKeisan keisan = new KinsyuKeisan();
```

問 2. プログラムの説明を読んで、プログラムの(2)~(3)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

金額のデータを入力し、金種別の枚数を求めて表示する。

入力データ

 $\times \times \times \times \times \times$ (第1図)

実行結果

```
金額:11478
[10,000円]
 1,000円
           1枚
   100円
           4枚
    50円
           1枚
2枚
    10円
     5円]
           1枚
    1円
           3枚
金額:6200
 5,000円1
           1枚
 1,000円
           1枚
   100円
           2枚
金額:
```

(第2図)

処理条件

1. 配列 kinsyu に金種の金額を記憶する。

配列

```
kinsvu
          (0)
                  (1)
                                    (8)
        10000
                 5000
                                    5
```

- 2. キーボードから第1図の金額を入力する。
- 3. 金額の金種別の枚数を第2図のようにディスプレイに表示 する。ただし、金種別の枚数が 0 の場合は表示しない。
- 4. キーボードから金額に 0 が入力されたら処理を終了する。

<Javaプログラム>

問3. プログラムの説明を読んで、プログラムの(4)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

国内線の到着地コードと人数、出発日までの日数のデータ を入力し、料金を計算して、規定単価、割引率とともに表示 する。

入力データ

到着地コード 出発日までの日数 人数 $\times \times \times$ X $\times \times$ (第1図) 実行結果 到着地コード:103

人数:2 出発日までの日数:16 [到着地]青森 [規定単価] 44,900円 [割引率] 5% [料 金] 85,310円 7 到着地コード:0 [料金合計] 689,540円 [人数合計] 17人

(第2図)

処理条件

1. 配列 tcode には到着地コードを, 配列 tmei には到着 地名を、配列 ryo には1人あたりの規定単価を記憶する。 なお, 各配列は添字で対応している。

配列

tcode	(0)	(1)	~	(8)	(9)
	201	103	~	709	906
tmei	(0)	(1)	~	(8)	(9)
	千歳	青森	~	鹿児島	那覇
ryo	(0)	(1)	~	(8)	(9)
	52800	44900	~	55900	57800

2. 出発日までの日数別の割引率は次のとおりであり、配列 ritu に割引率を記憶する。

出発日までの日数	割引率
0日~ 9日	0%
10日~19日	5%
20 日 ~ 29 日	10%
30日以上	20%

配列

ritu	(0)	(1)	(2)	(3)
	0.00	0.05	0.10	0.20

- 3. キーボードから第1図の到着地コード,人数,出発日 までの日数を入力する。
- 4. 出発日までの日数をもとに割引額と料金を次の計算式で 求め、第2図のようにディスプレイに表示する。

割引額 = 1人あたりの規定単価 × 割引率 料金 = (1人あたりの規定単価 - 割引額) × 人数

5. キーボードから到着地コードに 0 が入力されたら, 料金合計,人数合計を第2図のようにディスプレイに表示 して処理を終了する。

```
//クラスHikokiKeisan
import java.util.Scanner;
public class HikokiKeisan {
   public static void main(String[] args) {
       Scanner sc = new Scanner(System.in);
       int \Box tcode = { 201, 103, \sim, 709, 906 };
       String[] tmei= { "千歳", "青森", ~, "鹿児島",
           "那覇" };
       int[] ryo = { 52800, 44900, \sim, 55900, 57800 };
       double[] ritu = { 0.00, 0.05, 0.10, 0.20 };
       int gokei, nkei, acode, p, nin, hi, s, wari, kin;
       gokei = 0;
       nkei = 0;
       System.out.print("到着地コード:");
       acode = sc.nextInt();
       while(acode != 0) {
           p = 0;
                        (4)
           while(___
                                    7) {
               p = p + 1;
           System. out. print("人数:");
           nin = sc.nextInt();
           System. out. print("出発日までの日数:");
           hi = sc.nextInt();
           if(hi >= 30) {
               s = 3;
           } else {
               s = hi / 10;
           }
           wari = (int) (ryo[p] * ritu[s]);
           kin =  (5)
           System.out.println("[到 着 地]" + tmei[p]);
           System.out.printf("[規定単価]%,10d円\n",
               ryo[p]);
           System. out. printf("[割 引 率]%10d%\n",
               (int) (ritu[s] * 100));
           System.out.printf("[料
                                    金]%,10d円\n", kin);
           System.out.println("--
           gokei = gokei + kin;
           nkei = nkei + nin;
           System. out. print("到着地コード:");
           acode = sc.nextInt();
       System.out.printf("[料金合計]%,10d円\n", gokei);
       System.out.printf("[人数合計]%,10d人\n", nkei);
       sc.close();
```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。 <プログラムの説明>

処理内容

商品データと売上データを読み、商品別集計結果を表示する。 また、ユーザーフォームから商品コードを入力し、売上数分析 を表示する。

入力データ

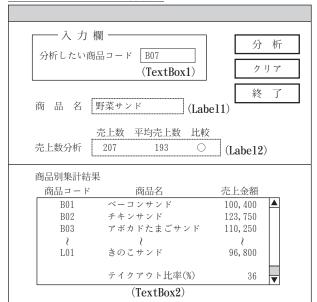
商品データ(ファイル名: syohin.csv)

商品コード	商品名	単価	
$\times \times \times$	×~×	$\times \times \times$	(第1図)

売上データ(ファイル名:uriage.csv)

日付	時刻	商品コード	区分	
$\times \times \times \times$	$\times \times \times \times$	$\times \times \times$	×	(第2図)

ユーザーフォーム・実行結果



(第3図)

処理条件

- 1. 第1図の商品データには商品コード、商品名、単価が記録されている。なお、商品は20種類である。
- 2. 第2図の売上データには日付、時刻、商品コード、区分が記録されている。なお、区分は0(店内飲食)、1(テイクアウト)である。
- 3. ユーザーフォーム初期化時に次の処理を行う。
 - 第1図の商品データを読み、商品コードを配列 Scod に記憶する。また、商品名を配列 Smei に、単価を配列 Tnk に記憶する。なお、各配列は添字で対応している。

配列

Scod	(0)	(1)	(2)	~	(19)	(20)
		B01	B02	~	R05	L01
Smei	(0)	(1)	(2)	~	(19)	(20)
		ベーコンサンド	チキンサンド	~	フルーツサンド	きのこサンド
Tnk	(0)	(1)	(2)	~	(19)	(20)
		400	450	~	350	400

• 第2図の売上データを読み、商品コードをもとに配列 Scod を探索し、売上数を配列 Urisu に集計する。なお、配列 Urisu は配列 Scod、Smei、Tnk と添字で対応している。

配列



- ・ 区分が1の場合、テイクアウト数を集計する。
- データを読み終えたあと、平均売上数を求める。
- ・ 売上数と単価から売上金額を求め、商品コード、商品名とともに TextBox2 に表示する。
- テイクアウト比率(%)を求め、TextBox2に表示する。
- 4. 第3図のように、分析したい商品コードをTextBox1に入力し、「分析」ボタンをクリックすると次の処理を行う。
 - ・ 商品コードをもとに配列 Scod を探索し,商品名を Label1 に表示する。なお,商品コードが見つからなかった場合は, 「商品コードエラー」と Label1 に表示する。
 - ・ 分析商品の売上数が平均売上数より多い場合は「○」とし、分析商品の売上数、平均売上数とともに Label2 に表示する。

<マクロ言語プログラム>

```
Option Explicit
Dim Scod(20) As String, Smei(20) As String, Tnk(20) As Long, Urisu(20) As Long, Heikin As Long
Private Sub UserForm_Initialize()
   Dim h As Long, i As Long, Tout As Long, Hi As Long, Jikoku As Long, Ucod As String, Kubun As Long
   Dim j As Long, k As Long, Kingaku As Long, Hiritu As Long
   Scod(0) = ""
   For h = 0 To 20
      Urisu(h) = 0
   Next h
   Open ThisWorkbook. Path & "Ysyohin.csv" For Input As #1
   For i = 1 To 20
      Input #1, Scod(i), Smei(i), Tnk(i)
   Next i
   Close #1
   Tout = 0
   Open ThisWorkbook. Path & "Yuriage.csv" For Input As #2
   Do While Not EOF(2)
      Input #2, Hi, Jikoku, Ucod, Kubun
      j = 1
      Do While [
                     (1)
         j = j + 1
      Loop
      Urisu(j) = Urisu(j) + 1
      Urisu(0) = Urisu(0) + 1
      If Kubun = 1 Then
          Tout =
      End If
   Loop
   Heikin = Urisu(0) / 20
   Close #2
   TextBox2. Text = ""
   For k = 1 To 20
      Kingaku =
                      (3)
      Next k
   Hiritu = Tout * 100 / Urisu(0)
   TextBox2. Text = TextBox2. Text & Chr(13) & Chr(10) & "
                                                          テイクアウト比率(%) " & Format(Hiritu, "##0")
   Call Syokika
End Sub
Private Sub 分析 Click()
   Dim Ncod As String, m As Long
   Ncod = TextBox1. Text
   m = 20
   Do While m > 0 And Scod(m) <> Ncod
     m = m - 1
   Loop
   If m > 0 Then
      Label1.Caption = (4)
      Label2.Caption = Format(Urisu(m), "#,##0") & " " & Format(Heikin, "#,##0")
       If (5) Then
          Label2. Caption = Label2. Caption & " O"
      End If
   Else
      Labell. Caption = "商品コードエラー"
      Label2.Caption = ""
   End If
End Sub
Private Sub クリア_Click()
   Call Syokika
End Sub
Private Sub 終了_Click()
 End
End Sub
Private Sub Syokika()
   TextBox1. Text = "
   Labell.Caption = ""
   Label2.Caption = ""
End Sub
```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ある市の成人健康診断申し込みについて記録したファイルを読み、分析表を印字する。

入力データ

申し込みファイル (ファイル名: MOSIKOMI-F, レコード名: MOSIKOMI-R)

受付番号	地区コード	年齢	
(BAN)	(TIKUCD)	(NEN)	
$\times \times \times$	$\times \times \times \times$	$\times \times \times$	

×___(第1図)

実行結果

(ファイル名:ITIRAN-F, レコード名:ITIRAN-R)

(成人健	康診断申し込み	分析表)	
(地区名)	(地区別人数)	(割合(%))	(備考)
朝日北	7	5.8	
朝日南	7	5.8	
有 田	14	11.6	\bigcirc
}	}	}	}
恵比寿	4	3.3	
和田	6	5.0	
(人数合計)	120		
(年齢グループ)	(年齢グループ別人数)	(グラフ)	
20 -	3 6	***	
30 -	4 0	****	
}	}	}	
70 -	4		

(第2図)

加理条件

1. 次のように,テーブル TCD-T には地区コード,テーブル TNAME-T には地区名がそれぞれ記憶されている。なお,各テーブルは添字で対応している。

テーブル TCD-T

TCD	(1)	(2)	(3)	~	(18)
	ASAK	ASAM	ARIT	~	WADA
テーブル	TNAME-T				
TNAME	(1)	(2)	(3)	~	(18)
	朝日北	朝日南	有 田	~	和 田

- 2. 第1図のファイルを読み、次の処理を行う。
 - 地区コードをもとにテーブル TCD-T を探索し、テーブル TNIN-T に地区別人数を集計する。なお、テーブル TNIN-T は テーブル TCD-T、テーブル TNAME-T と添字で対応している。また、TNIN(19) には人数合計を集計する。

テーブル TNIN-T



• テーブル NGNIN-T に年齢グループごとの集計を行う。ただし、70歳以上は NGNIN(6) に集計する。

テーブル NGNIN-T



- 3. ファイルを読み終えたあと、次の処理を行う。
 - ・ 第2図のように地区名,地区別人数,割合(%),備考を印字する。なお,割合(%)は次の計算式で求め,割合(%)が10%を超えた場合,備考は「◎」とする。

割合(%) = 地区別人数 × 100 ÷ 人数合計

• 年齢グループ,年齢グループ別人数,グラフを印字する。なお,グラフはテーブル GRAPH-T を利用し,年齢グループ別人数10人につき「*」1つで表すこととする。ただし,年齢グループ別人数は120人以下である。

テーブル GRAPH-T

GRAPH	(1)	(2)	(3)	~	(12)	(13)
		*	**	~	*****	*****

```
< C O B O L プログラム>
WORKING-STORAGE SECTION.
01 FLG
                PIC 9(01).
    N
                 PIC 9(02).
                PIC 9(01).
PIC 9(02).
PIC 9(03)V9(01).
    NSOE
01
01
    KARA
01
    WARI
                PIC 9(02).
01
    G
01
    TMEISAI-R.
    02
                 PIC X(04) VALUE SPACE.
    02 T-MEI
                 PIC X(06).
                 PIC X(08) VALUE SPACE.
    02
                PIC ZZ9.
PIC X(04) VALUE SPACE.
        T-KEI
    02
                PIC ZZ9.9.
        T-WARI
    02
                 PIC X(02) VALUE SPACE.
    02
    02 T-BIKO
                PIC X(02).
01
    GMEISAI-R.
                 PIC X(04) VALUE SPACE.
    02
    02
       G-NEN
                PIC Z9.
                 PIC X(12) VALUE " -
    02
                PIC ZZ9.
PIC X(04) VALUE SPACE.
    02
       G-KEI
    02
        G-GRAPH PIC X(12).
    02
PROCEDURE DIVISION.
P1. OPEN INPUT MOSIKOMI-F OUTPUT ITIRAN-F
    MOVE ZERO TO FLG TNIN-T NGNIN-T
    PERFORM UNTIL FLG = 1
        READ MOSIKOMI-F
          AT END
             MOVE 1 TO FLG
          NOT AT END
            MOVE 1 TO N
             PERFORM UNTIL
                                   (1)
                 COMPUTE N = N + 1
             END-PERFORM
             COMPUTE TNIN(N) = TNIN(N) + 1
             COMPUTE TNIN(19) = TNIN(19) + 1
             IF NEN >= 70
               THEN
                 MOVE 6 TO NSOE
              ELSE
                 COMPUTE NSOE = (2)
             END-IF
             COMPUTE NGNIN(NSOE) = NGNIN(NSOE) + 1
        END-READ
    END-PERFORM
    PERFORM VARYING N FROM 1 BY 1 UNTIL (3)
        MOVE TNAME(N) TO T-MEI
        MOVE TNIN(N) TO T-KEI
        COMPUTE WARI = TNIN(N) * 100 / TNIN(19)
        MOVE WARI
                      TO T-WARI
        IF WARI > 10
          THEN
            MOVE "©" TO T-BIKO
          ELSE
            MOVE " TO T-BIKO
        END-IF
        WRITE ITIRAN-R FROM TMEISAI-R AFTER 1
    END-PERFORM
    MOVE SPACE
                     TO TMEISAI-R
                    TO T-KEI
             (4)
    WRITE ITIRAN-R FROM TMEISAI-R AFTER 1
    MOVE SPACE
                    TO ITIRAN-R
    WRITE ITIRAN-R AFTER 1
    PERFORM VARYING N FROM 1 BY 1 UNTIL N > 6
        COMPUTE KARA = (N + 1) * 10
        MOVE KARA
                         TO G-NEN
        MOVE NGNIN(N)
                        TO G-KEI
        COMPUTE G = NGNIN(N) / 10 + 1
                 (5)
                       TO G-GRAPH
        MOVE
        WRITE ITIRAN-R FROM GMEISAI-R AFTER 1
    END-PERFORM
    CLOSE MOSIKOMI-F ITIRAN-F
```

STOP RUN.

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成25年度(第50回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

			解	答	用 紙		
[1]	1	2	3	4	5]	
						1	
[2]	1	2	3	4	5		
						_	
[3]	1	2	3	4	5		小計
						-	
[4]	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	-	
				Ī	可		
		T				-	
[5]	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	-	
	(1)	(0)	(9)	(4)	(5)	1	.t. ≥t.
[6]	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	-	小計
•••••	•••••		Java) •	〔マクロ言語	吾〕•〔COB	O L)	•••••
[7]	(1)						
k / 1	(2)						
	(3)						
	(4)						
	(5)						

試験場校名	受験番号	選択言語		
		Java	マクロ言語	COBOL

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成25年度(第50回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

			畨	道 基	华		
[1]	1	2	3	4	5		
	1	丰	ケ	才	ア	各 2 点	
F 0.3						_ 計10点 ¬	
[2]		2	3	4	5	_	
	エ	力	ウ	コ	ケ	各 2 点 計10点	
[3]	1	2	3	4	5	7	小 計
	ウ	1	イ	ア	イ	各 2 点	30
			(-)	(.)	(-)	_ 計10点	
【4)		(2)	(3)	(4)	(5)		
	2	4	5	2 п	ア	各 3 点 】計15点	
[5]	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	7	
	ウ	カ	ケ	ア	オ	─ 各 3 点	
						」 計15点 →	
[6]	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		小計
	1	ク	エ	コ	+	各 3 点 」 計15点	45
		[]	Java] •	〔マクロ言語〕	• (COB	OL]	•••••
	(Java)	注)=,演算	算子の前後の9	凹白は問わない			
[7]	(1) k i r o (2) m a i s		4,3,0 n,s,y,u,[,n	. 7			
	(3) n =		,11,5,y,u,_,11				
	(4) t c o d	e [p] !	= a c o d				
	(5) (r,y,o, (マクロ言語)			_*, _n,i,n, バ=, 演算子の	前後の空白	 は問わない。	
[7]	(1) S _c od			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		112111111111111111111111111111111111111	
	$\begin{array}{c c} (2) & T_o u_t \\ \hline \end{array}$	+ 1 u (k) *	T - 1- (1-	.)			
	(3) U r i s (4) S m e i .		T_n_k_ (k				
	(5) U r i s	u (m) >	Heiki	n			
[7]	$\begin{array}{c c} (COBOL) \\ \hline (1) T_1 C_1 D_1 \end{array}$		I K U C D				
k / ,	(2) N E N	/ 10					
		1.8			1 1 1 1 1		
	(4) T ₁ N ₁ I ₁ N ₁ (5) G ₁ R ₁ A ₁ P ₁	(1,9) H. (G)					
	(0) 0 10 11	<u>, </u>					各 5 点 計25点
[受験番号	<u>.</u>	選択言	<u></u>	小計	合 計
ł							

マクロ言語

COBOL

25

100